

2023 鹿児島国体 選手選考について

1. 参加人員（国体参加規定より抜粋）

(1) 監督2名，選手29名（男子選手19名以内，女子選手19名以内）計31名以内で編成する。

(2) 出場制限

ア 1種目1名，同一人の出場は2種目までとする。ただし，リレーは除く。

イ 都道府県主催の予選会に出場しなかった種目には出場できない。ただし，1種目の予選のみに出場し，その種目の代表となった者は，予選に出場しなかった他の1種目にも出場できる。

ウ 4×100mリレーの編成は，男女とも成年，少年A，少年Bから各1名，残りの1名は成年，少年A，少年Bのいずれかの種別から選出するものとし，計8名以内で申し込むこと。

エ 男女混合4×400mリレーの編成は男女2名ずつとし，合計8名以内で申し込むこと。男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名，残りの男女各1名は成年，少年A，少年Bのいずれかの種別とする。

オ リレーに出場する者は，予選会の中の種目であっても参加していれば出場できる。

カ 成年男子10000m競歩の出場者は，5000m競歩の予選会を経た者でもよい。少年男子共通5000m競歩，成年女子5000m競歩の出場者は，3000m競歩の予選会を経た者でもよい。

キ 成年男子三段跳には，少年男子Aからもエントリーできる。ただし，各都道府県からエントリーできるのは，成年男子または少年男子A，いずれかの1名のみとする。

ク 成年女子5000m競歩には，少年女子Aからもエントリーできる。ただし，各都道府県からエントリーできるのは，成年女子または少年女子A，いずれかの1名のみとする。

ケ 成年女子棒高跳には，少年女子Aからもエントリーできる。ただし，各都道府県からエントリーできるのは，成年女子または少年女子A，いずれかの1名のみとする。

コ 少年男子B3000mの出場者は，1500mの予選会を経た者でもよい。

サ 成年男子300m・少年男子A300m・成年女子300m・少年女子A300mの出場者は，100m，200m，400mいずれかの予選会を経た者でもよい。

シ 少年男子A300mハードル及び少年女子A300mハードルの出場者は，200m，300

m, 400m, 110mハードル/100mハードル, 400mハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。

※当該種目の公認記録がない場合は、資格記録なしとして番組編成を行う。

2. 選手選考について

(1) 参加資格取得競技会

- ・県記録会・南日本中学・県高校総体・南九州地区予選大会・通信陸上・県選手権
- ・県中学総体

ただし、JOCトップアスリートなどの国体参加資格の特別措置対象者は選考の対象とする。

(2) 選考基準

選考においては、2023年4月1日からの記録を有効とし、国体資格取得競技会の成績と、国体標準記録・ランキング等を参考に、県選手団が好成績を残せるよう総合的に判断し選考する。

※成年の部は、日本選手権・各グランプリ・実業団大会・学生選手権・日本ランキング上位者などを中心に、ふるさと制度も活用し選考する。

※少年A・少年共通種目については、全国高校総体・南九州地区予選会・県高校総体の結果を重要視する。同一種目において候補者が複数名いる場合は、全国高校総体の結果を最重要視する。

※少年B種目においては、国体参加資格取得競技会の結果をもとに選考する。

(3) 選考

8月上旬の鹿児島陸上競技協会の理事会で候補選手を決定する。

(8月下旬に鹿児島陸上競技協会ホームページに掲載する)

正式には鹿児島県スポーツ協会の資格審査を経て、9月上旬に鹿児島県国体選手に決定する。